

人々にとってかけがえのない川も、時には猛威をふるい、私たちの生活を脅かしてきました。
その川では、今、自然環境に配慮した川づくりが進められています。
“治水と河川の自然環境の保全・復元”は、私たちの永遠のテーマです。

ターブロックIIは河川をしっかりと守り、
覆土・植生により、自然環境の
保全・復元に貢献します。

■特長

- ブロック相互の合端間で被覆土と地盤が連続しているため、水分が補給される等、植物の生育を助けます。
- ブロックの凸部は被覆土のすべり出しを抑制し、流速低減にも有効に作用します。
- ブロックは、適度な屈撓性を持ち地盤の変化に対応できます。
- ブロックは、大型で使用個数が1個/m²と少なく、また方向性がないので速やかな施工ができます。

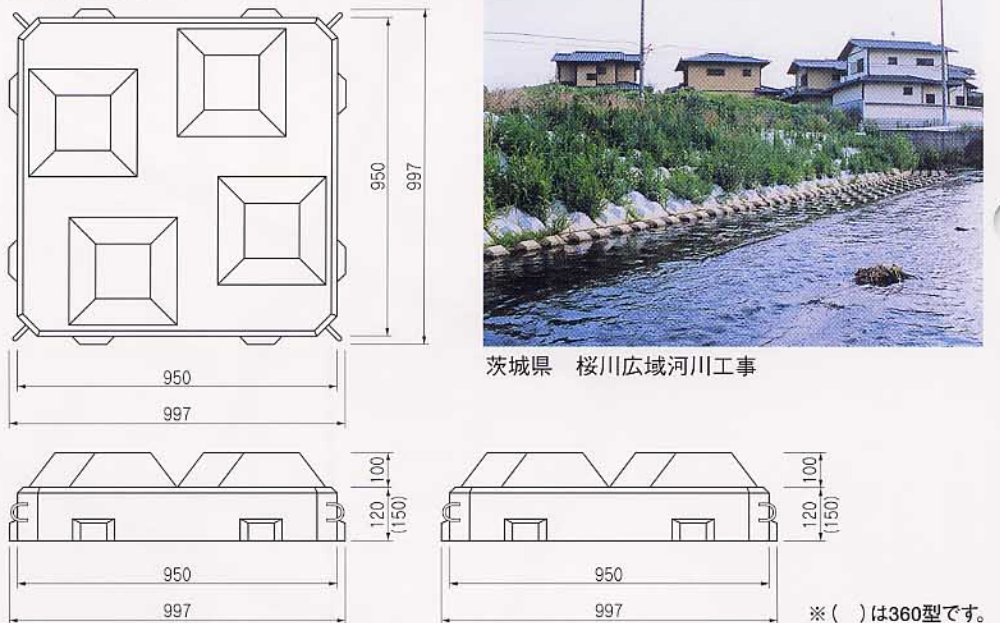
■用途

- 河川・ダム・遊水池などの護岸工

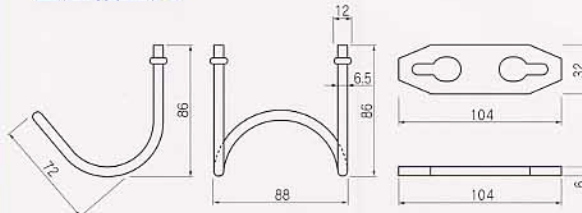
■規格諸元

型式	主要部寸法 L×B×H(mm)	体積 (m ³)	参考質量	
			kg/個	kg/m ²
300型	950×950×220	0.1328	305	305
360型	950×950×250	0.1597	367	367

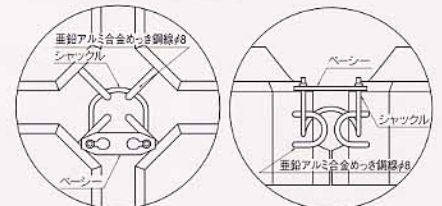
■規格寸法図



■連結金具



■連結詳細図



青森県 灰沼護岸工事



茨城県 桜川広域河川工事



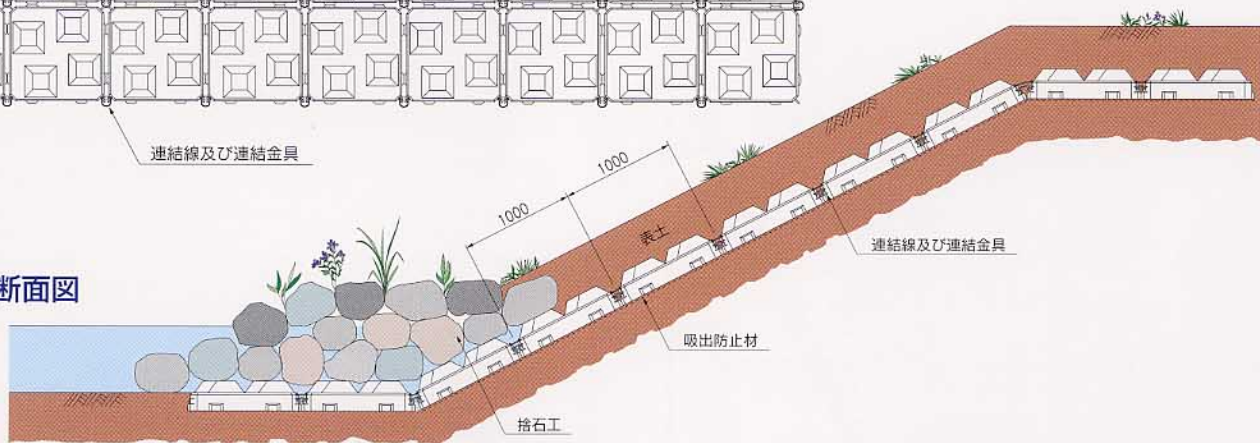
「護岸ブロックの水利特性試験法マニュアル」に基づき試験委託し、水利特性値証明書をいただいています。

■展開図

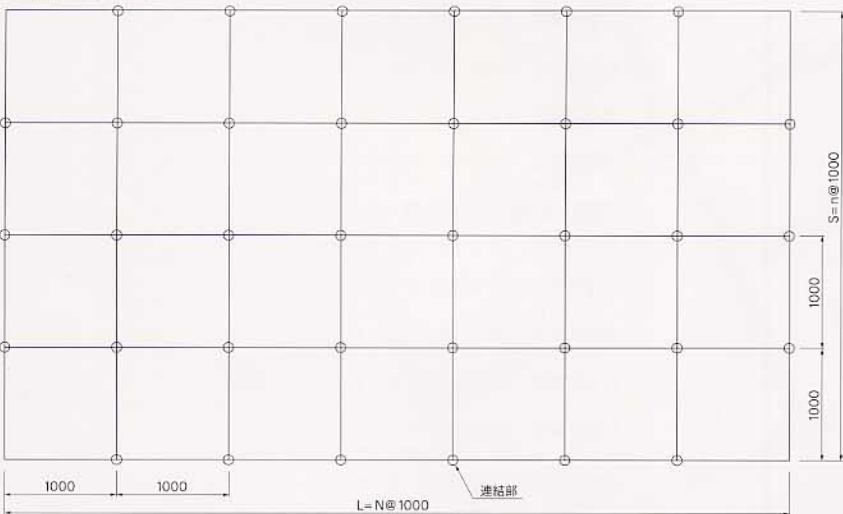


積土ブロック
ターブロックⅡ

■施工断面図



■数量算出



■数量算出式

法覆長 S(m) 施工延長 L(m)の場合
 所要ブロック数 $N=S \times L$
 連結金具 $N=(S+1)(L+1)-4$

【計算例】

法覆長 8(m) 施工延長 20(m)の場合
 所要ブロック数 $N=8 \times 20=160$ 個
 連結金具 $N=(8+1)(20+1)-4=185$ 組

■数量算出例

区分	単位	施工延長20.0m										
		段	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
段数	段	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
法覆長	m	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
施工面積	m ²	60.0	80.0	100.0	120.0	140.0	160.0	180.0	200.0	220.0	240.0	
ブロック	個	60	80	100	120	140	160	180	200	220	240	
連結金具	組	80	101	122	143	164	185	206	227	248	269	

N:列数
n:段数